

平成29年度 四日市市環境活動賞 受賞者

「日永梅林・登城山」を復活させる会

●表彰活動の内容

1 地球温暖防止に向け、梅木の植樹、青樹活動に努め、正しく「日永梅林、登城山」を復活させる。

(北ゾーン)
取り組み: 20年前より南部丘陵公園へ梅の苗木を、登城山には、実の成る木を毎年植付中。

現況: H29年4月現在 梅木 2,400本、実のなる木 300本 植付、育樹中。

※最盛期(江戸末期)は9,000本

2 快適環境&健康づくり

●梅祭典事業として「梅まつり、梅ちぎり、登城山まつり、秋まつり等」4回/年 開催中。

●登城山に冒険の森 遊歩道を開設。四日市市により「南部アルプス道」が布設、コラボして活動中。

→ 参加者には、あすなろう鉄道の活用呼びかけPR中＝ <観光公園化>



↑ 梅まつりの様子 →



↑ 秋まつりでの植樹活動



↑ 遊歩道の整備

●表彰活動の内容

3 環境・自然観察教育・・・知見・体験等を通じ、理解を深め、永続と後継者の育成

※近年の小学校・幼稚園等へ総合学習支援継続中。<9年前より>
(中学・高校へは、ビラやポスター配布)

4 地域社会と共に！ 住民参加型のまちづくり、輪(和)づくりに努力中

→ “緑、青空、笑顔いっぱい”のこの地をめざして！



↑ 小学校の総合学習
「梅ちぎり」の様子



↑ 環境フェア出展 →

●活動の目的

“復活 日永梅林”



伊勢新聞社(日)市支店編・三高麗株式会社提供 1986年(昭和11年)または1927年(昭和12年)3月14日開催する「梅の名所 日永梅林(当時一帯日永梅林まつり)」チラシ

起史

「日永梅林」の歴史は古く、江戸(後林)時代には、特に大正～昭和13年頃の最盛期には、9千本もの梅花が咲き誇る東海地方有数の景勝地で有り、開花期には、馬車や臨時列車(現あすなろう鉄道)が停車し、梅林の道筋には多くの茶屋や紅白幕仕立ての棧敷が幾つも並び、それはそれは大勢の花見客で賑わったとの事。

しかし戦下(第2次大戦)に巻込まれ、梅林は切倒され荒廃、その勇姿は消滅した。

<目的>

私たちは、その復活再生を願い、この自然豊かな文化財である「日永梅林」を復活させ、「登城山一帯」を自然あふれる里山遊歩道(冒険の森)に再生・永続させる事を願い、単に緑化推進にとどまらず、地域社会との連携を図り、「住民参加型のまちづくり」を推進する事を目的に、平成11年3月「日永梅林・登城山」を復活させる会と命名し発足。

●経歴(概要)

H11年 3月 活動開始

H15年 4月 登城山へ「冒険の森」遊歩道を開設

H19年 6月 「第18回全国みどりの愛護のつどい賞」受賞 ※於 長野県安曇野市

H20年 6月 児童への「梅・公園・環境等」の総合学習支援スタート (泊山小、泊山幼)毎年実施

H29年 3月 植育樹管理本数 梅2,400本、実のなる木300本 ⇒以後、育樹中心に取り組む

H29年 4月 四日市「南アルプス縦走路」布設(市)⇒冒険の森遊歩道とコラボ・管理

H29年11月 四日市市制120周年記念・当会発足20周年事業が承認される

H29年12月 四日市市環境活動賞 受賞

※日永梅を活用した銘品開発中<四日市農芸高校とコラボ>

●今後の予定

1. 平成29年度計画分

記念誌発刊

四日市市制120周年記念・当会発足20周年事業として

①平成30年 1月「南アルプス縦走路」初歩き&新春もちつき大会

② " 2月～3月21日 第20回復活梅まつり、3月3,4日第20回梅見会 開催

③ " 3月17日 当会20周年記念梅林講演会(四日市文化会館)

2. 活動の永続化に向け、次世代への引き継等を検討

環境・自然観察教育・学び合いの継続!!

3. 四日市市エコパートナーとしての取り組み(情報交換、交流のUP)、全国梅サミットへの参画検討